

両框裁断機 ADVANCE

両框裁断機 ADVANCE 取扱説明書

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

この度は両框裁断機「ADVANCE」をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を安全にお使いいただくための事柄を記載してあります。ご使用前に、本書を最後までよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本機をご利用のさい、必要なときすぐに利用できますように本書を大切に保管しておいてください。

〈 目 次 〉

取扱注意事項	1
1. 外観と各部の名称	2
2. 各スイッチ類の名称	4
3. エアーの接続と圧力設定	6
4. 各部の調整	7
5. 画面操作説明	11
6. 運転方法	24
7. こんなときは	29
8. 消耗品	31
9. 主な仕様	31

〔取扱注意事項〕

本機をご使用頂くには、正しい取り扱いと定期的な保守点検が不可欠です。
以下の取り扱い注意事項を良くお読みになり、十分に理解されるまで作業を行わないで下さい。

この取扱説明書では、取り扱いを誤った場合、発生が予想される危害、損害に対する注意事項をその程度により〔△警告〕〔△注意〕という項目に分類して表示しています。

〔△警告〕 ……もし、お守り頂かないと、人身事故につながるおそれのある注意事項

〔△注意〕 ……もし、お守り頂かないと、機械の破損、故障につながるおそれのある注意事項

〔一般取扱注意事項〕

〔△警告〕 安全カバーを外したまま絶対に運転をしないで下さい。

〔△警告〕 運転中は回転物に絶対に触れないで下さい。

〔△警告〕 雨滴のかかる場所および屋外では運転しないで下さい。
漏電、感電の恐れがあります。

〔△警告〕 本体に貼ってある安全ラベルは破ったり、傷つけたりしないで下さい。

〔△警告〕 保守・点検を行う場合は、電源を切り、機械が完全に停止していることを十分に確認した上で行って下さい。

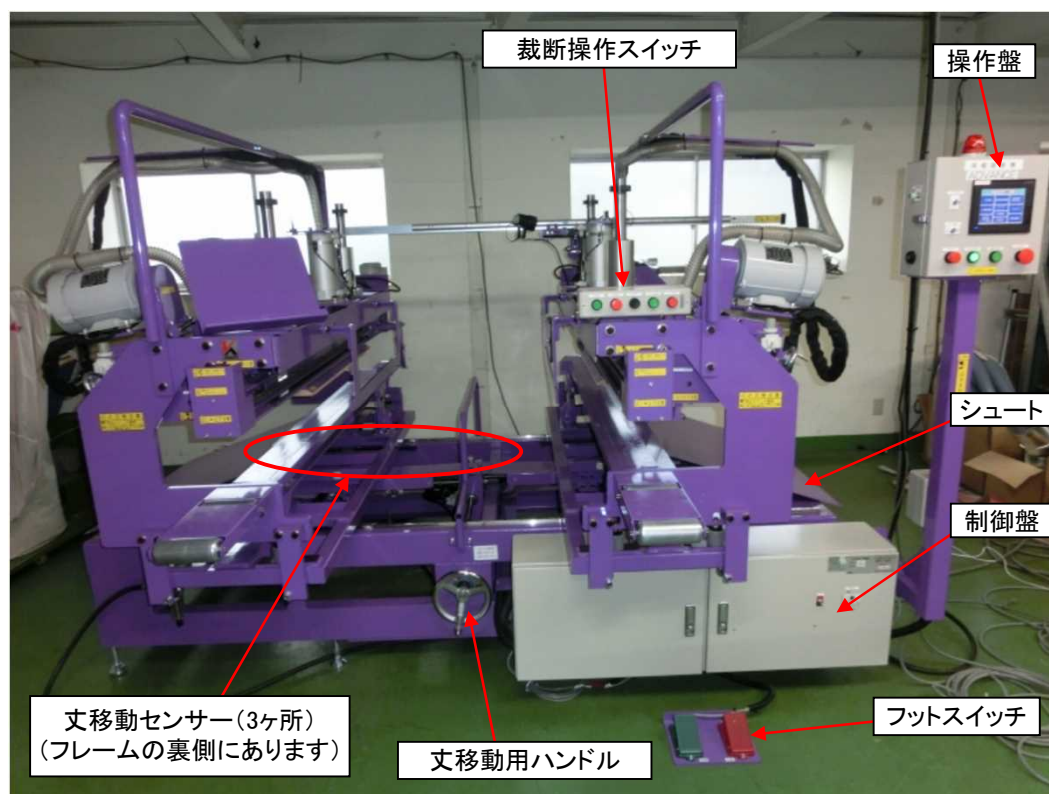
〔△警告〕 改造はしないで下さい。安全上の問題となることがあります。
ご相談のない改造には責任を負いかねます。

〔△警告〕 使用後には必ず電源スイッチをOFFにしてください。
誤ってスイッチ等に触れると突然動き出す等、非常に危険です。

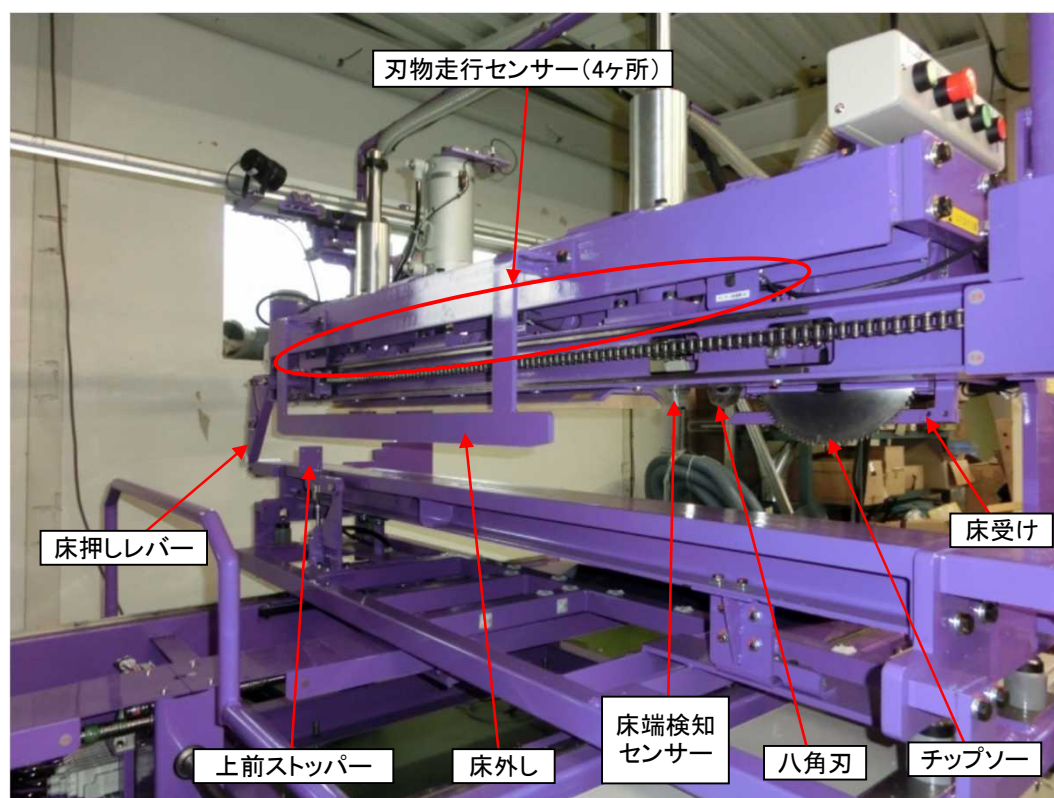
〔△注意〕 畳の仕上がり・寸法精度の確認を毎日行って下さい。
機械の調整・使用方法が正しく行われないと、良い仕上がり、正しい寸法の畳が製作できないことがあります。
床、表等材料が変わったときには寸法を測定して下さい。

〔△注意〕 本機の上及び周辺に物を置かないで下さい。

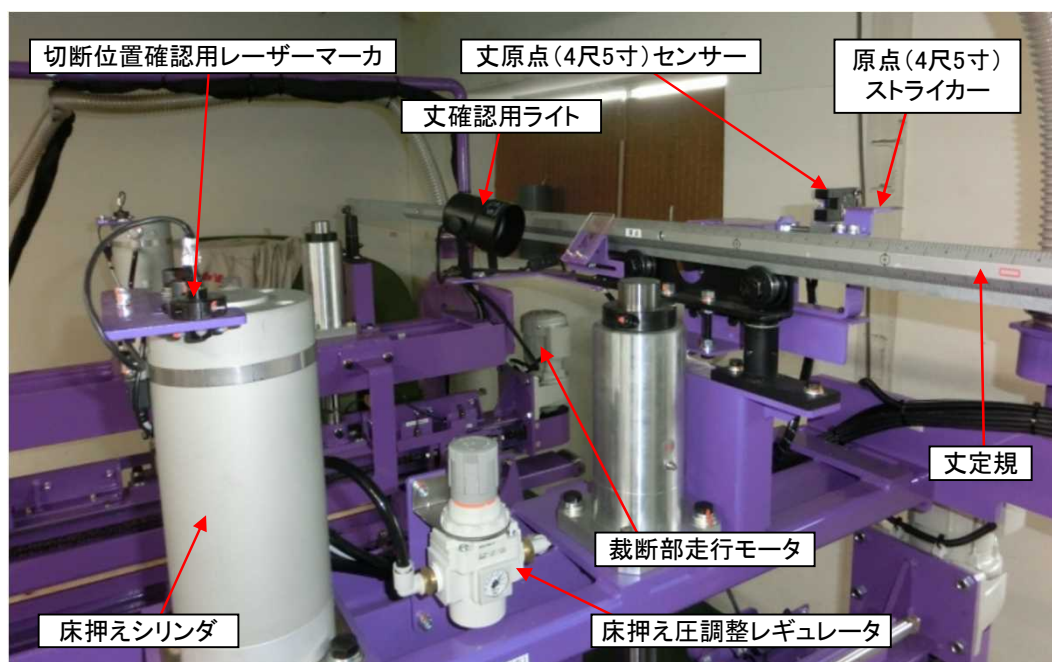
1. 外観と各部の名称



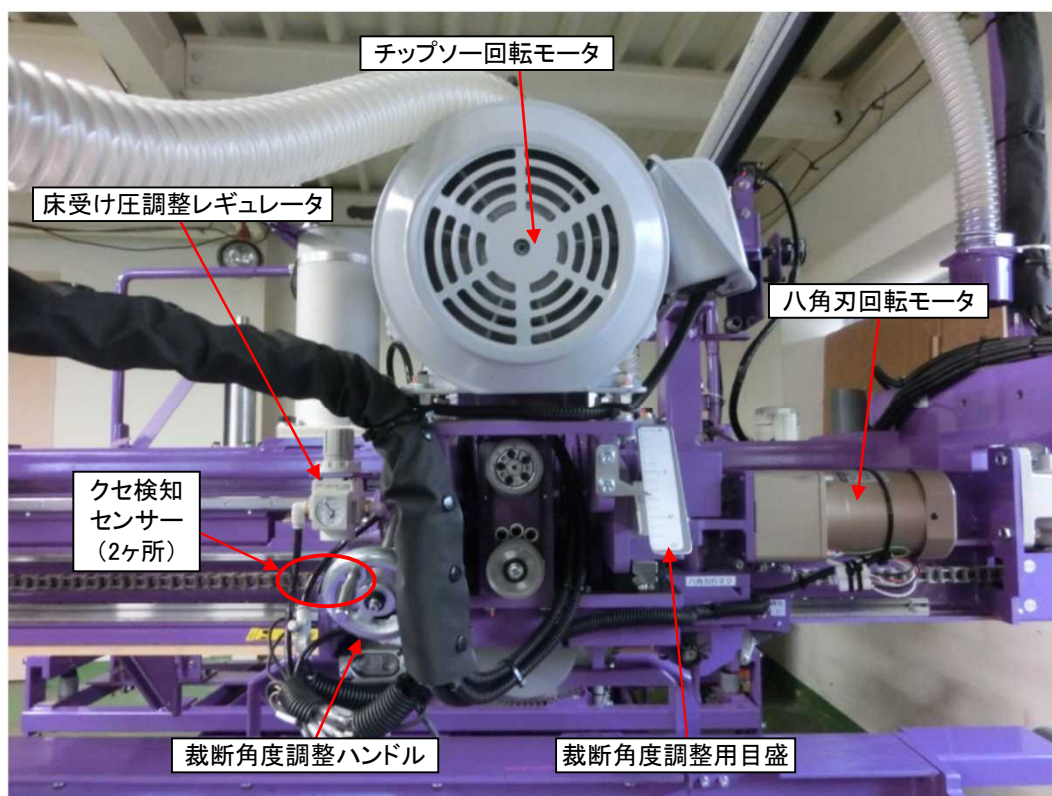
正面図



装置内側図



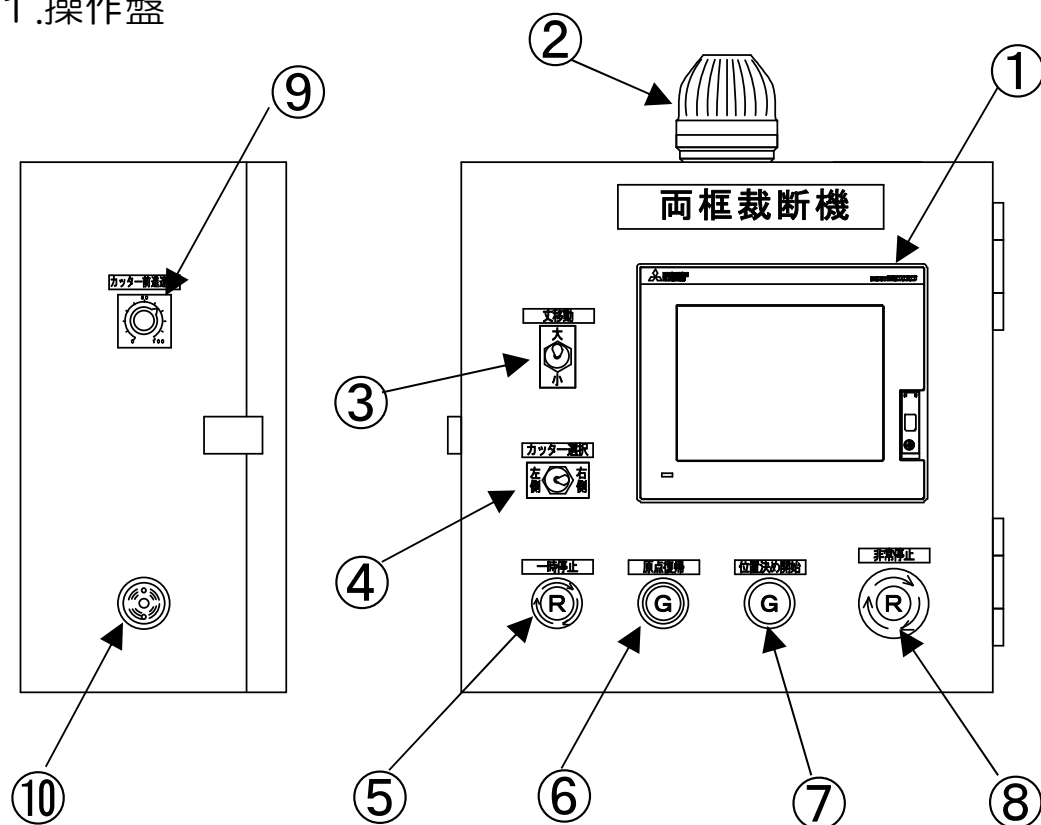
丈測定部



裁断部

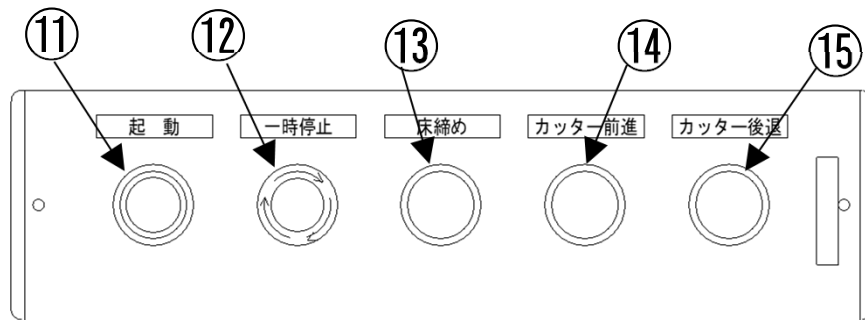
2. 各スイッチ類の名称

2-1. 操作盤



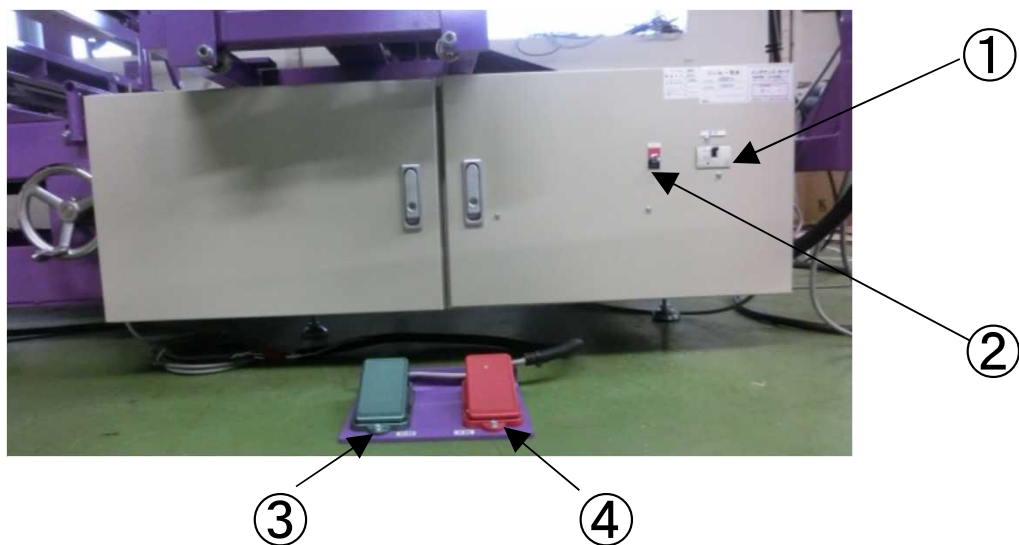
①	タッチパネル	タッチ操作でメニュー選択し、各種設定及び寸法を入力したりエラーの表示をします。
②	表示灯	一時停止時（点滅）、モーター過負荷時（点灯）及び荒落とし位置決め（開始後2秒間点灯）を知らせます。
③	丈移動SW	丈位置を手動で移動させます。
④	カッター選択SW	通常は中間位置にしておきます。手動操作で片側のカッターだけを移動させたい場合に切り換えておきます。また、片裁断運転時は右側に切り換えます。
⑤	一時停止スイッチ	裁断動作を一時停止する時に押します。ロック式の為、時計回りに回して解除します。
⑥	原点復帰スイッチ	原点復帰及び四尺五寸セットを行う時に押します。完了後点灯します。
⑦	位置決め開始スイッチ	単独運転時に寸法確定後位置決めを行う時に押します。
⑧	非常停止スイッチ	非常事態の場合に停止させる時に押します。ロック式の為、時計回りに回して解除します。操作は原点復帰後に行ってください。
⑨	カッター走行速度ボリューム	カッター走行速度（前進のみ）を調整します。
⑩	ブザー	位置決め完了及び異常発生を知らせます。

2-2.裁断操作スイッチ



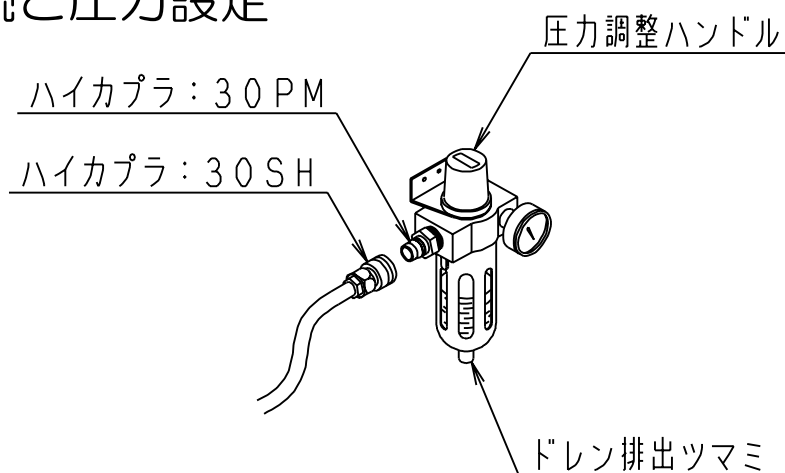
⑪	起動スイッチ	床の裁断を開始する時に押します。
⑫	一時停止スイッチ	動作を停止する時に押します。
⑬	床締めスイッチ	手動で床締めしたり、床を開放したりする時に押します。
⑭	カッター前進スイッチ	手動でカッターを前進させる時に押します。 押している間だけ前進します。
⑮	カッター後退スイッチ	手動でカッターを後退させる時に押します。 押している間だけ後退します。

2-3.制御部



①	主電源ブレーカ	主電源をON/OFFします
②	ライトON/OFF スイッチ	丈定規を照らすライトをON/OFFします
③	仮締フットSW	片裁断運転時に床を仮締めする時に踏みます。もう1度踏むと床締めが上昇します。
④	本締フットSW	片裁断運転時に仮締め後床を位置決めした後、本締めする時に踏みます。もう1度踏むと床締めが上昇します。

3. エアーの接続と圧力設定



①エアーの接続

機械上に何も無いことを確認の上、エアーを入れて下さい。

機械側には、ハイカプラ30PMを取り付けていますのでコンプレッサからのホース先端に30SH（ホースが3/8”用）か20SH（ホースが1/4”用）等の組み合わせ可能なカプラを取り付けて接続して下さい。作業終了後カプラの接合を外して、必ずエアーを抜いて下さい。

②エアー圧力調整方法

・圧力を上げる時

圧力調整用ハンドルを引き上げてから、右に回せば圧力が上がります。調整後、圧力調整用ハンドルを押し下げて下さい。

・圧力を下げる時

圧力調整用ハンドルを引き上げてから左に回し、設定する圧力よりも0.1MPa低い圧力まで一旦下げてから、右に回して設定圧力まで圧力を合わせて下さい。調整後、圧力調整ハンドルを押し下げて下さい。

③ドレンの排出

ドレンは自動で抜けます。

④フィルターケースの洗浄

ドレンの排出が悪くなったり、ケースの汚れが目立つ場合、下記の要領でケースを取り外してから、中性洗剤で洗って下さい。（プラスチックで出来ていますのでシンナー、アルコール等の溶剤は、使用しないで下さい。）

圧力がゼロの状態にしてからケースを持ち上げるようにして側面のロックボタンを下方方向に向け、ロックボタンの上方に矢印（▲）が出るのを確認の上、そのままの状態でもまたは左に45°回転させた後にケースを下方方向に引いて下さい。取り付ける場合は、ボディとケースの//印を合わせてケースを差し込み、右又は左に回して下さい。

⑤エアー圧力調整

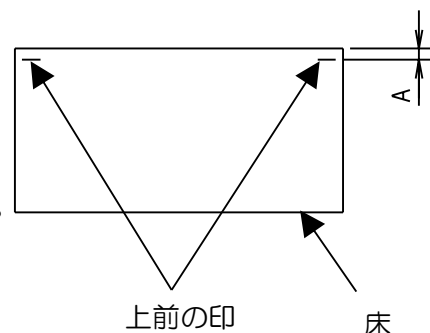
- | | | |
|-------|--------------|-------------------------------------|
| ・メイン | : 0.6MPa | } 軟らかい床の場合は弱めに、
硬い床の場合は強めにして下さい。 |
| ・床受け | : 0.3~0.5MPa | |
| ・床押さえ | : 0.4~0.5MPa | |

4. 各部の調整

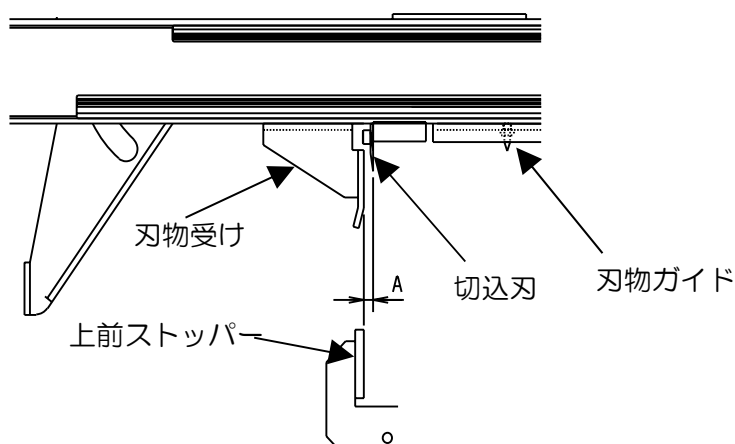
〔△警告〕 調整中に、誤って動き出さないよう必ず本体の電源を切る
または非常停止スイッチを押した状態で調整して下さい。

4-1. 上前の印の位置調整

- ・ 上前の印は床締め時に自動で付けられます。
- ・ 上前の切込刃と床受けとの間隔が右図のAとなります。
- ・ 上前ストッパー及び床端ストッパーは、刃物受けとの面の位置が同一になるように調整します。



〔△注意〕 上前の切込刃の位置を変えると大曲に狂いが生じます。



4-2. 八角刃の交換

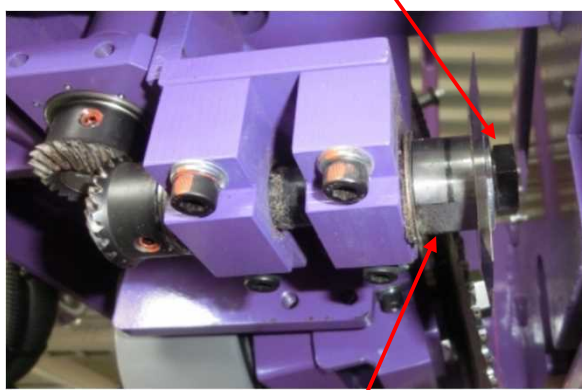
1) 対辺17と対辺22のスパナを使用して取付、取外しを行って下さい。

〔△警告〕 怪我をしないよう必ず軍手等の保護手袋を着用して下さい。

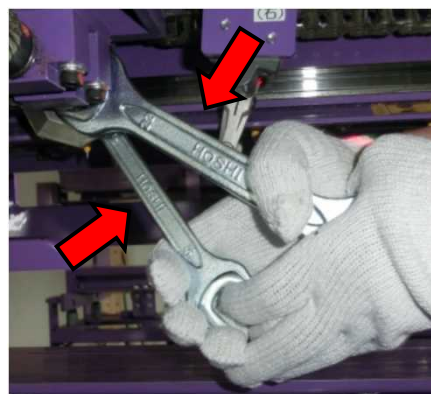
〔△警告〕 チップソーや八角刃で怪我をしないよう、2本のスパナを握るようにして取付・取外しをして下さい。（下図参照）

〔△注意〕 右側裁断部は右ネジ、左側裁断部は左ネジです。

スパナ（対辺17）で取付、取外し



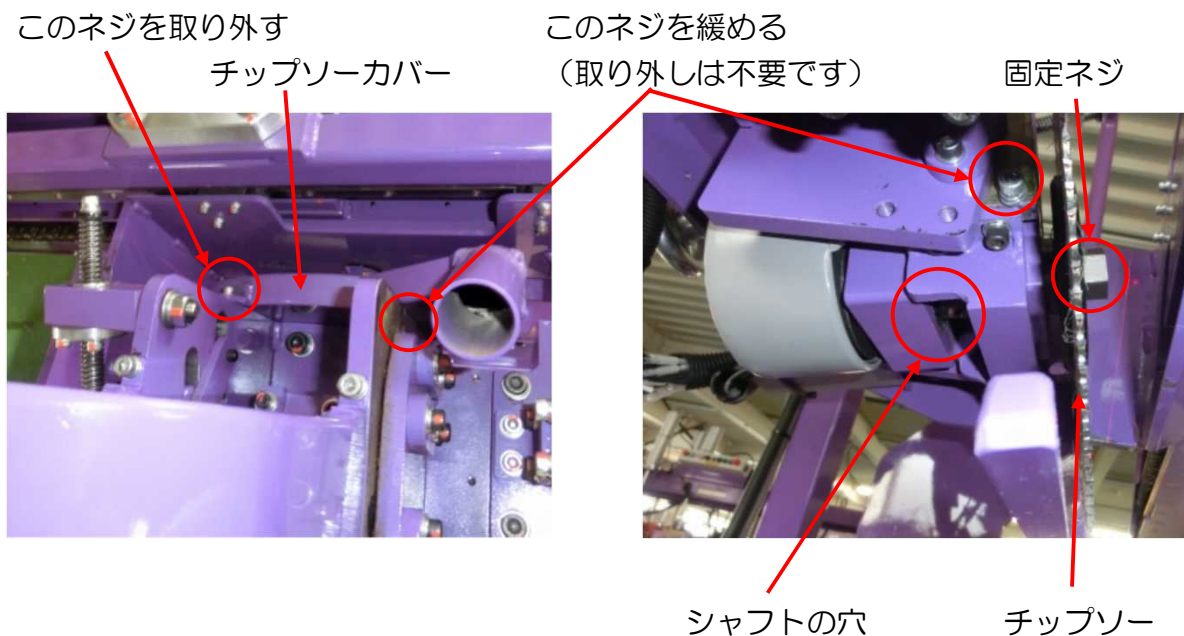
スパナ（対辺22）で回り止めをする



2本のスパナを握り締めて
取付・取外しをして下さい

4-3. 裁断刃物の交換

- 1) 集塵ホースを取外し、手動操作でクセを大方向に動かして下さい。
- 2) 下図を参照してチップソーカバーを取り外します。（ネジ片側2箇所）



- 3) 固定ネジ、押工、チップソー、座金を取り外し刃物を交換します。
共回りしないようにシャフトの穴に六角レンチなどの軸を差し込み、
スパナ（対辺24）で取付、取外しをして下さい。

【△警告】 怪我をしないよう必ず軍手等の保護手袋を着用して下さい。

【△警告】 チップソーや八角刃で怪我をしないよう、スパナは床搬入側から見て
引っ張る方向に回して取付・取外しをして下さい。（下図参照）

【△注意】 右側裁断部は左ネジ、左側裁断部は右ネジです。

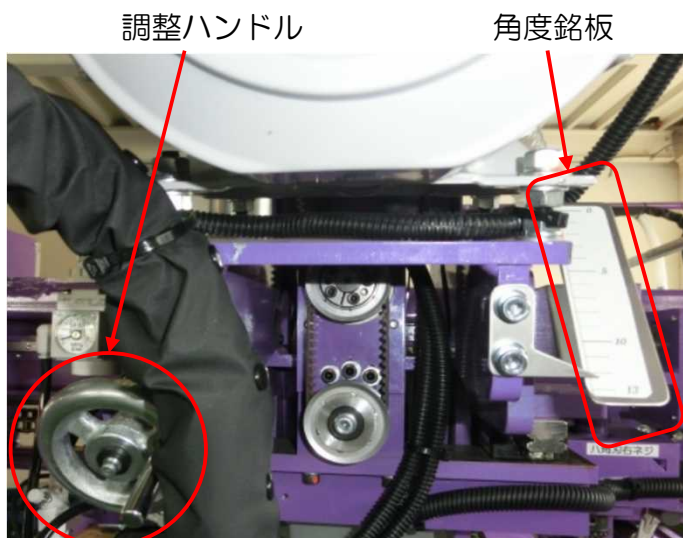
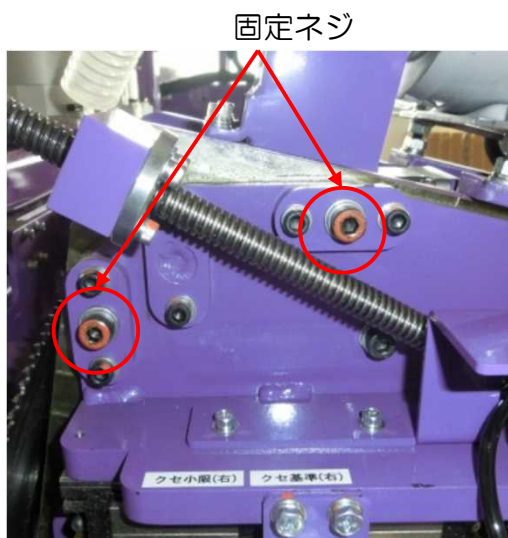
【△注意】 裁断はアップercut裁断です。刃物の回転方向に合う様に刃物の
向きの注意して取付して下さい。



4-4.刃物角度の切替

1) 下図の固定ネジ（片側2箇所）を緩めて下さい。

【△注意】 完全に外すと部品が落下するので注意して下さい。
また、中央の大きいネジのみ緩めて下さい。



2) 角度銘板を参考に調整ハンドルを回して、裁断角度を合わせて下さい。

●調整ハンドル回転方向

- ・刃物角度 $0^{\circ} \rightarrow 13^{\circ}$ の時・・・時計方向に回す
- ・刃物角度 $13^{\circ} \rightarrow 0^{\circ}$ の時・・・反時計方向に回す

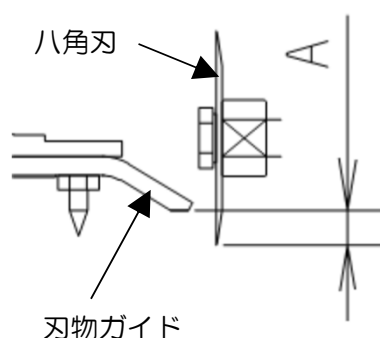
4-5.八角刃の深さ調整

1) 下図の固定ネジ（片側2箇所）を緩めて下さい。

2) 下図を参照に八角刃の先端が刃物ガイドより13～15mm深くなるように調整し、固定ネジをしっかりと締めて下さい。（下図のA=13～15mm）

【△警告】 怪我をしないよう必ず軍手等の保護手袋を着用して下さい。

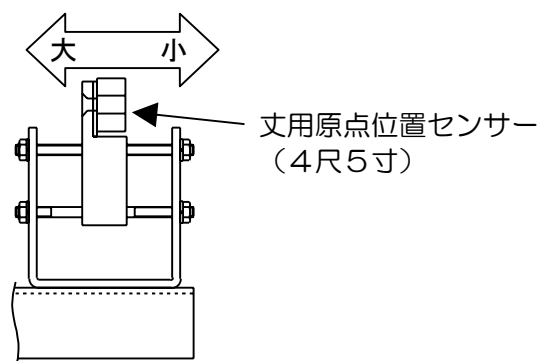
【△注意】 調整時、八角刃の前後方向がずれないように、切欠ガイドに隙間がないようにネジを締めて下さい。



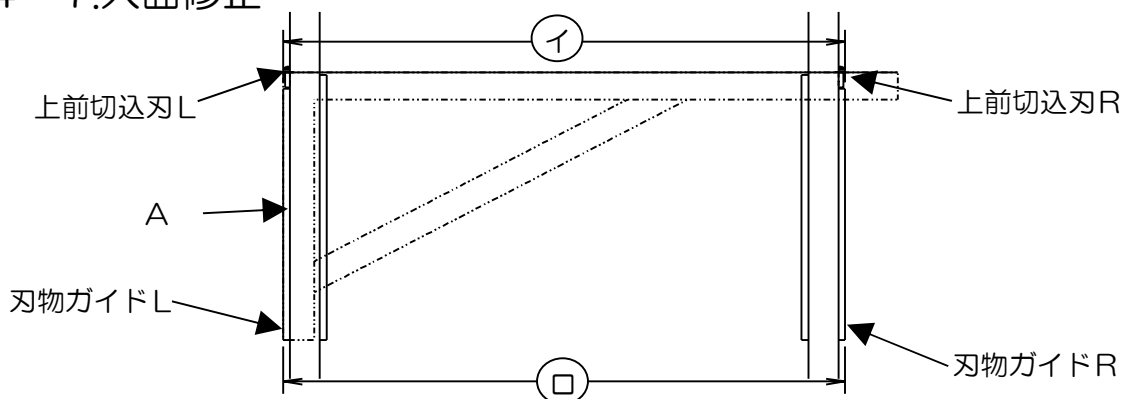
4-6. 寸法修正

丈用定規部の右側のセンサーを右図の様に左側に移動すれば全長が長くなり、右側に移動すれば全長は短くなります。

〔△注意〕 その都度スケール及びカーソルも合わせて下さい。



4-7. 大曲修正

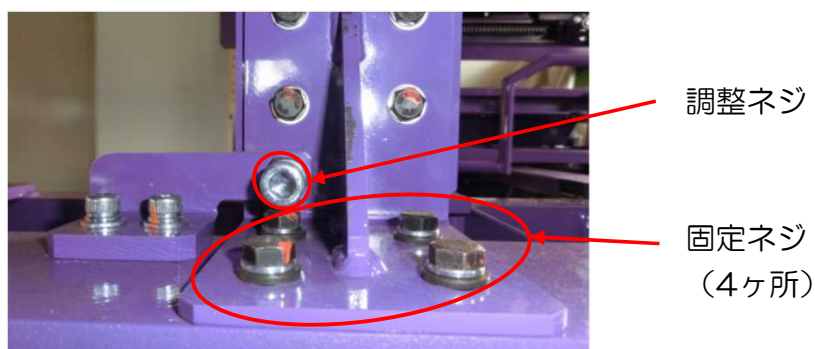


上図のようにイ、ロの寸法を同じにし、大曲が刃物ガイドA面と、上前切込刃R・Lに接しているとき、大曲がでている状態です。

大曲が出ていない場合は下前側（入口側）床受け部下側の調整ネジで調整します。固定ネジを緩め、調整ネジで床受け部・裁断部全体の角度を調整して下さい。

（調整ネジ先が調整ブラケットに接するようにして下さい）

- ・ 調整ネジを締める・・・下前側がクセ小になる
- ・ 調整ネジを緩める・・・下前側がクセ大になる



4-8. 注油、給脂

〔△注意〕 注油、給脂は機械が正常に動作する為に必要ですので、必ず行って下さい。

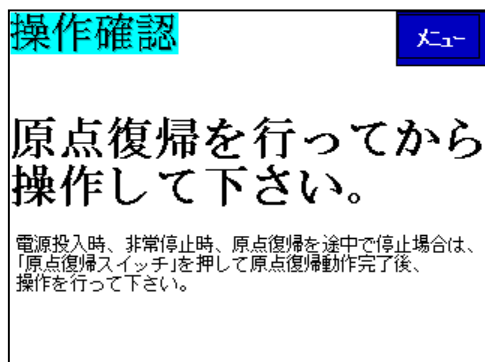
- ・ ピローユニット軸受け部
- ・ チェーン、スプロケット部分
- ・ シリンダー取り付け、先端金具のピン部分
- ・ スライドユニット部分
- ・ ギヤボックス部

機械油	品番	B3-1182
グリス	品番	B3-1184

5. 画面操作説明

5-1. 電源投入

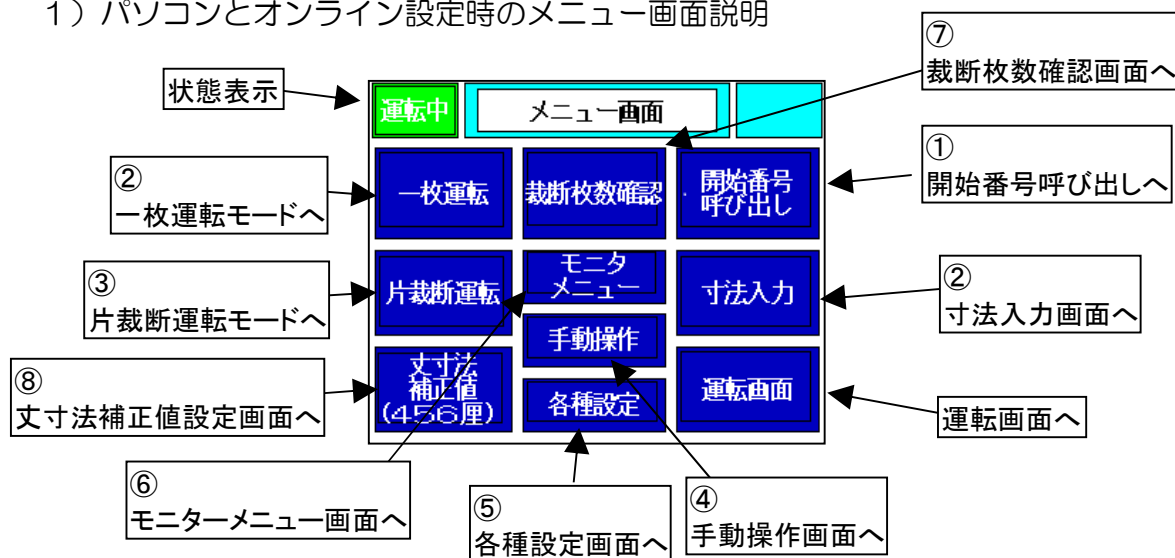
1) 制御盤の電源ブレーカをONすると次の様な画面が表示します。



2) 操作盤の原点復帰スイッチをONして下さい。（4尺5寸セットと同じです）
メニュー画面に切り替わります。

5-2. メニュー画面へ

1) パソコンとオンライン設定時のメニュー画面説明



- ① 開始番号呼び出し・・・自動運転開始時、豊番号を呼び出す時に押します。
- ② 一枚運転モード・・・一枚のみ寸法入力して裁断する時に押します。
- ③ 片裁断運転モード・・・片側だけ裁断する時に押します。
- ④ 手動操作
 - ・手動操作1：クセ、カッター前進/後退
 - ・手動操作2：カッター回転、集塵機、床受け、上前ストッパー
 - ・手動操作3：オプション関係
- ⑤ 各種設定・・・各種設定を行う時に押します。
- ⑥ モニタメニュー・・・モニタメニュー画面を呼び出す時に押します。
- ⑦ 裁断枚数確認・・・総裁断回数及び裁断枚数を確認する時に押します。
- ⑧ 寸法補正值・・・寸法補正值を変更したい時に押します。

2) 寸法入力を押して下さい。（必要に応じて他のメニューを押して下さい）

5-3. 畳寸法の入力方法

- 畳の寸法データは、500枚記憶できます。
- 一度入れたデータは、次に同じ畳番号で入力するまで消えません。
- 畳番号は、1～499番が使用できます。
- 0番は、作業終了時用のデータ（原点位置から3分小）が固定で入っています。
- 入力用に0番は使用できません。

1) メニュー画面『寸法入力』を押すと寸法入力畳番号設定画面に切り替わります。

2) 畳番号を入力し『設定』を押します。

1～499番まで入力できます。

例) **2**⇒**設定**

3) 基準を入力して下さい。

- 基準寸法を選択します。

五八 三六 本間の中から
選択して下さい。

- 畳形状を選択します。

一畳 半畳から選択して下さい。

- 框クセ入力の割付間隔を選択します。

間中 小間中から選択して下さい。

選択したところが赤地、白文字に
反転します。

例) **三六**⇒**一畳**⇒**小間中**⇒**設定**

4) 各寸法を入力して下さい。

- 丈寸法、巾寸法の順に入力します。
- 基準寸法に対する大／小で入力して下さい。
- 基準寸法より小の時は寸法入力後、**±**を押して下さい。
- 1ヶ所入力毎に**設定**を押して下さい。
- 間違って入力した時は、**取消**を押して下さい。
- 一つ前に戻りたい時は、戻りたい場所を押して下さい。

●入力可能寸法

丈 : 2尺2寸～6尺6寸
 巾 : 2尺2寸～3尺3寸
 框クセ : 3尺3寸単位で5分以下
 左右下前クセ差 : 1寸以下

【△注意】 2尺3寸巾以下の場合はクセ取り不可です。

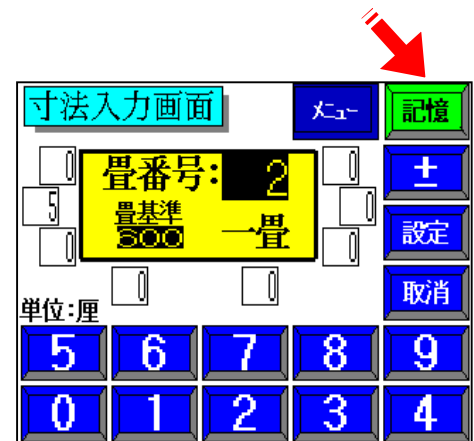
【△注意】

寸法が1尺以上大または小の場合、
 厘単位で入力すると4桁になりますが、
 その場合は手先と手元に振り分けて3桁
 (寸分厘)で入力して下さい。例えば、
 丈4尺6寸、巾2尺8寸5分の場合は
 右図のように入力して下さい。



5) 全ての寸法を入力したら**記憶**を押して下さい。
 次の畳番号に繰り上がります。

続けて寸法入力する場合は、そのまま
 4)、5)を繰り返します。
 但し、畳番号を違う番号にする時及び
 基準を変更する時は、1)から順に行って
 下さい。



6) 運転をする場合はメニュー画面の**開始番号呼び出し**を押し、畳番号を設定して下さい。

5-4. 畳番号呼び出し、設定

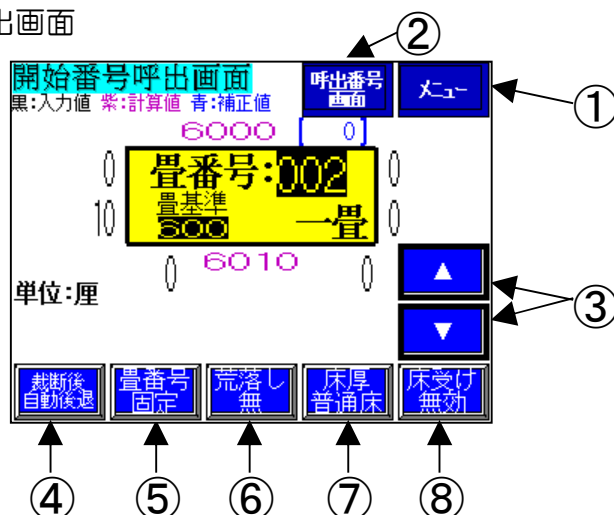
1) メニュー画面『開始番号呼び出し』を押すと呼出番号設定画面に切り替わります。



2) 開始番号をテンキーで入力し『設定』を押します。

注) 畳番号: 『0』は固定(作業終了時の番号)、『1』～『499』です。

3) 開始番号呼出画面



①・・・メニュー画面に戻る時押します。

②・・・呼出番号設定画面に戻る時に押します。

③・・・畳番号を変更する時に押します。『▽』で-1、『△』で+1となります。

④・・・裁断後一時停止有無選択スイッチで、裁断後、後退(床押し)を一時停止させたい時に選択します。(荒落とし裁断の時は自動的に停止します。) 尚、起動スイッチを押すと動き出します。

⑤・・・裁断終了後畳番号を繰り上げるか固定するかを選択します。

『畳番号繰上』: 裁断終了後畳番号を繰り上げ、その後位置決めを開始します。

『畳番号固定』: 畳番号を繰り上げず、裁断終了後は本画面に戻ります。

⑥・・・荒落とし有/無選択スイッチで、荒落とし運転をする時に押します。

荒落とし有で位置決め開始スイッチを押すと荒落とし位置決めします。

※荒落とし位置は設定値+2寸大となります。

⑦・・・床材料の厚み 普通床/薄床を選択します。

⑧・・・床受け 有効/無効を選択します。

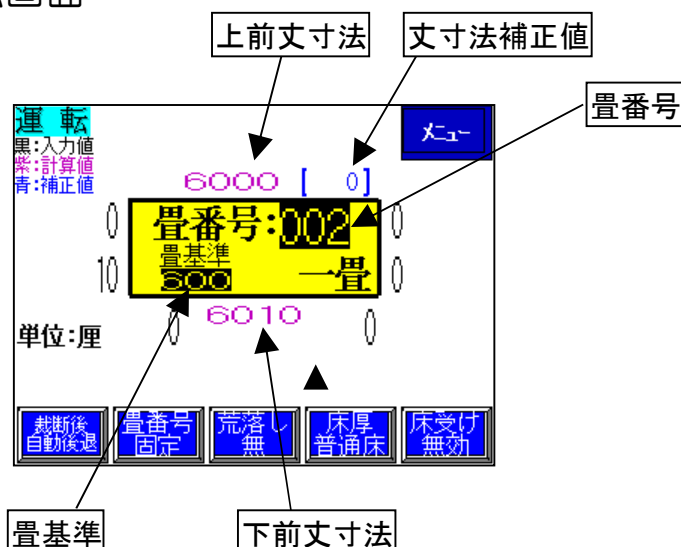
切り落とし量が1寸以下または3寸以上の場合は『無効』にしてください。

ただし、3寸以上時に床が垂れる場合は『有効』にしてください。

4) 操作盤の位置決め開始スイッチを押します。

機械が設定値へ位置決め動作を開始し、運転画面に切り替わります。

5-5. 運転画面

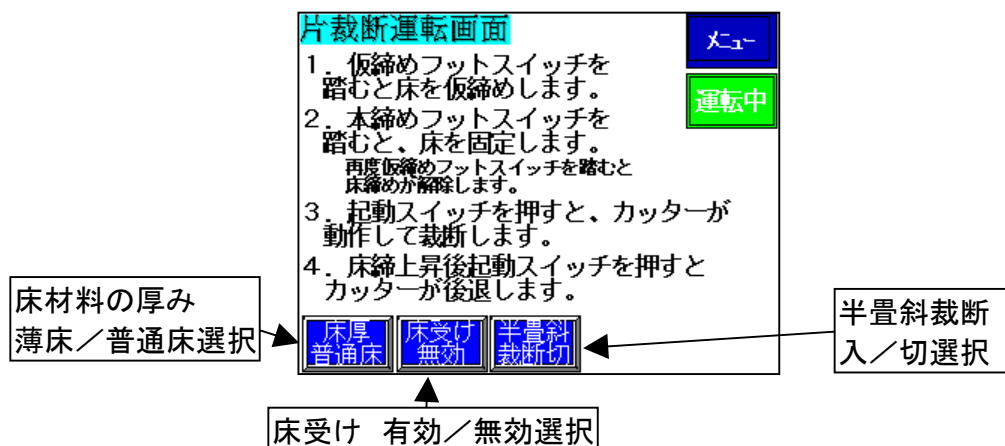


- 疊基準表示・・・ 630：本間
600：三六
580：五八
- 丈寸法補正值・・・丈寸法を補正します。
補正值の範囲は－19厘～＋19厘です。

- 1) 両裁断において位置決め開始以降本画面が表示されます。
機械が位置決め完了後、**起動スイッチ**が点滅します。
- 2) 裁断する床材料を機械にセットして下さい。
上前ストッパーに押し付け、上からのレーザーマーカを基準に
左右の位置を合わせてセットして下さい。
〔△注意〕 切り代は片側一寸五分以内です。それ以上大きい場合は荒落とし
または、片裁断運転で裁断後行って下さい。
- 3) **起動スイッチ**を押して下さい。
床締めが下降してチップソー、八角刃、集塵機が起動して裁断を開始します。

5-6. 片裁断運転

片裁断モードで右側のみ床締めをしてカッターで切断することが出来ます。

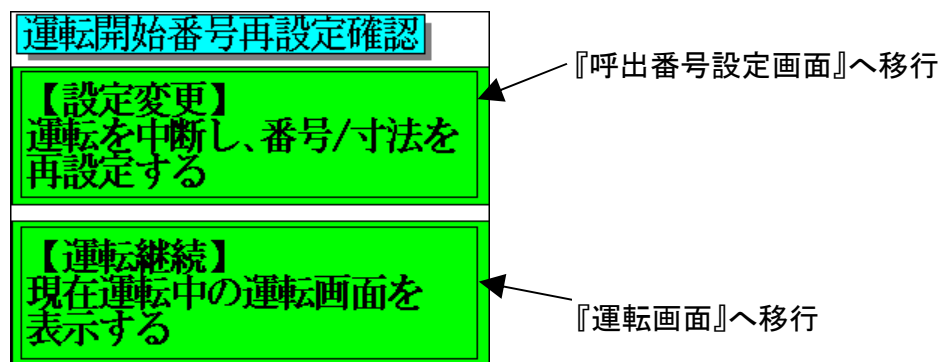


- 1) カッター選択を右側に選択して下さい。
- 2) 【床材料の厚み 薄床／普通床】を選択して押して下さい。
- 3) 【床受け 有効／無効】を選択して押して下さい。
切り落とし量が1寸5分以内で床が垂れる場合のみ『有効』にして下さい。
- 4) 【半畳斜裁断 入／切】を選択して押して下さい。
切り落とし量が1寸5分以上の場合は『入』にして下さい。
『入』にすると約8分のクセを取りながら裁断します。
- 5) 床材料をセットして下さい。
- 6) 仮締めフットスイッチを踏んで下さい。
- 7) 床の位置決めをして下さい。
- 8) 本締めフットスイッチを踏んで下さい。
※やり直す場合はどちらかのフットスイッチをもう一度踏むと床締めが上昇します。
- 9) 起動スイッチを押して下さい。
- 10) 床締め上昇後**起動スイッチ**を押して下さい。カッターが後退します。

5-7. 位置決め中一時停止スイッチON（位置決めやり直し）

自動運転において位置決め開始～『起動』スイッチを押す間までに
『一時停止』スイッチを押した場合、表示します。

※一枚運転時も同様に表示します。



- 1) 裁断設定を変更する場合は上側の【設定変更】を押して下さい。
呼出番号設定画面で再度設定を行って下さい。
- 2) そのまま位置決め、運転を継続する場合は下側の【運転継続】を押して下さい。
 - 位置決め途中の場合、**位置決め開始スイッチ**か**起動スイッチ**を押せば一時停止が解除されて運転を再開します。
 - 位置決め完了済みの場合、**起動スイッチ**を押せば自動裁断を開始します。

5-8. 一枚運転モード

1 枚運転モードにおいて手入力で自動裁断をすることが出来ます。

1) 寸法入力

一枚運転寸法入力

単位: 厘

五八 三六 本間
一畳 半畳 小間中

5 6 7 8 9
0 1 2 3 4

大 確定 設定 取消

※入力範囲・・・

- ・丈基準との差は±999まで
- ・寸法は2200～6600
- ・框のクセ差は3尺3寸単位で±50まで
- ・巾基準との差は±999まで
- ・巾寸法は2200～3300
- ・下前巾の差は±100まで

①畳基準を選択して押して下さい。畳基準・・・五八／三六／本間、一畳／半畳

②框クセ入力の割り付け間隔を選択して下さい。

2点：間中、3点：小間中

③框仕上げ寸法を寸法の畳基準に対しての差を入力して下さい。

④仕上げ巾寸法を巾寸法の畳基準に対しての差を入力して下さい。

各設定値をテンキーで入力後【設定】を押して下さい。

※左右のクセ（角度）は上前と下前の数値の差になります。

仕上がり巾でのクセ（角度）となります。

2) 寸法入力終了したら、確認後【確定】を押して下さい。

一枚運転呼び出し画面に移行します。

3) 一枚運転呼出画面で設定を確認して下さい。

一枚運転呼出画面

寸法入力画面へ

黒: 入力値
紫: 計算値
青: 補正値

6000 [0]

5 0 0 0 0

単位: 厘

0 6000 0 0 0

五八 三六 本間
一畳 半畳 畳基準

500

裁断後 自動後退
リピート 無
荒落し 無
床厚 普通床
床受け 無効

裁断後一時停止 有無選択

リピート有無選択

荒落とし有無選択

床受け 有効／無効選択

床材料の厚み 薄床／普通床選択

●リピート有無選択・・・同じ寸法での裁断を繰り返す時に選択します。

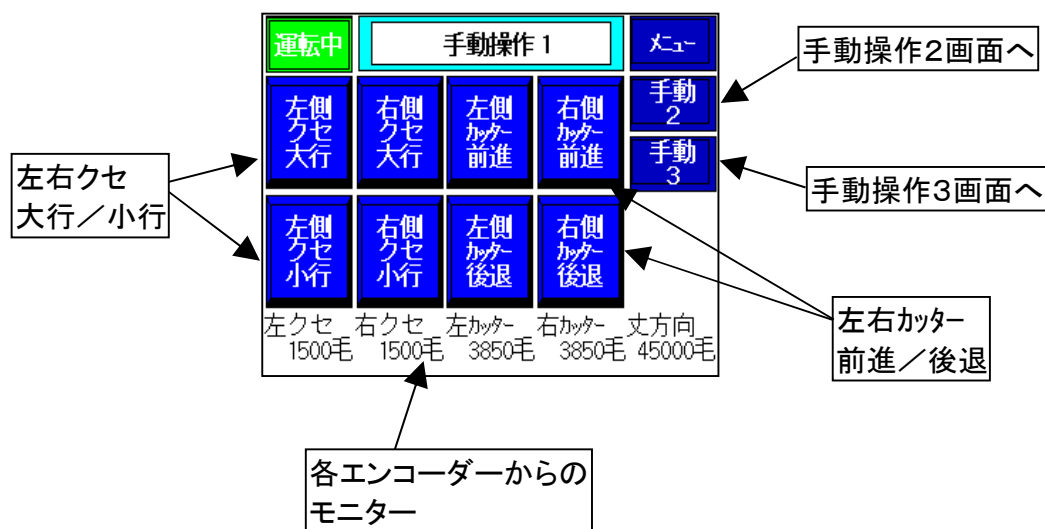
4) 操作盤の位置決め開始スイッチを押して下さい。

一枚運転画面に移行します。

5) 後は通常運転時と同様の操作で自動裁断します。

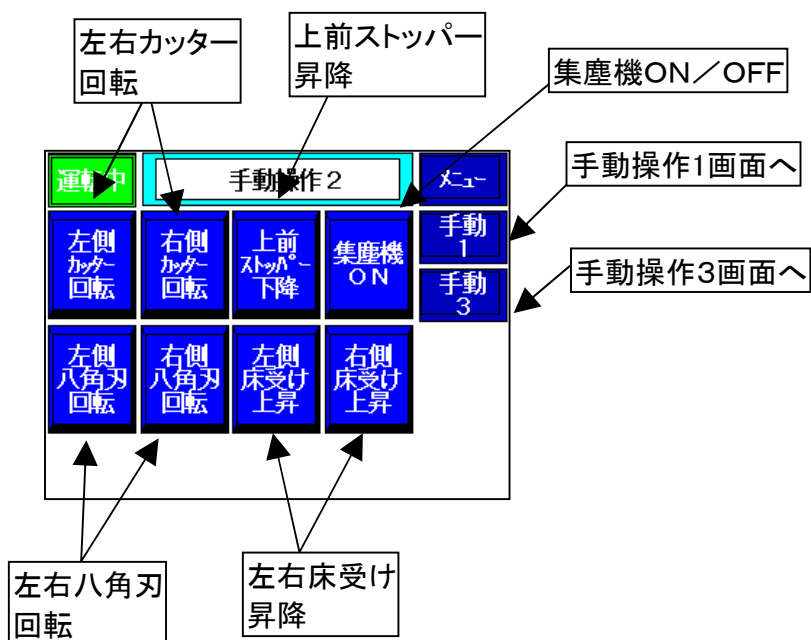
5－9. 手動操作画面

1) 手動操作 1



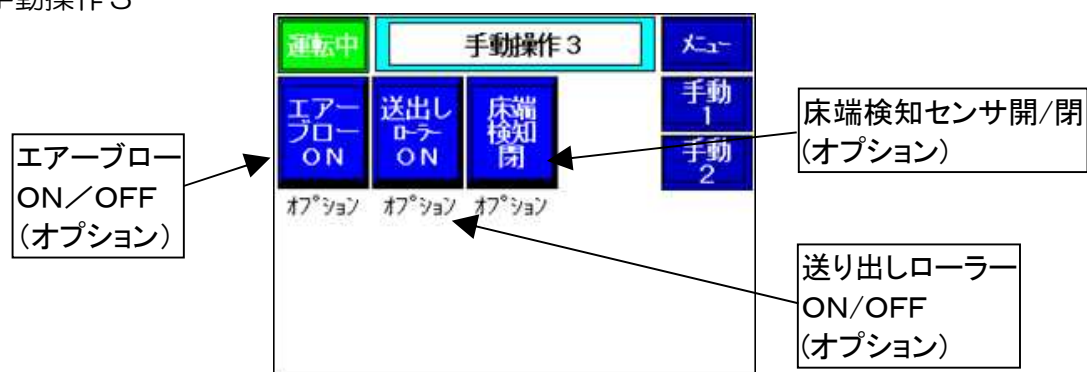
- 左右クセ大行／小行・・・左右それぞれのクセを大か小に移動させます。
押している間のみ動作します。
- 左右カッター前進／後退・・・左右それぞれのカッターを前後に移動させます。
押している間のみ動作します。

2) 手動操作 2



- 左右カッター回転・・・左右それぞれのチップソーを回転したり停止させる時に押します。
- 左右八角刃回転・・・左右それぞれの八角刃を回転したり停止させる時に押します。
- 上前ストッパー昇降・・・上前ストッパーを昇降する時に押します。
- 集塵機ON/OFF・・・集塵機を手動でON/OFFする時に押します。
- 左右床受け昇降・・・左右それぞれの床受けを昇降する時に押します。

3) 手動操作3



※エアブローON/OFFは、オプションです。

※送出しローラーON/OFFはオプションです。

※床端検知センサ開/閉はオプションです。

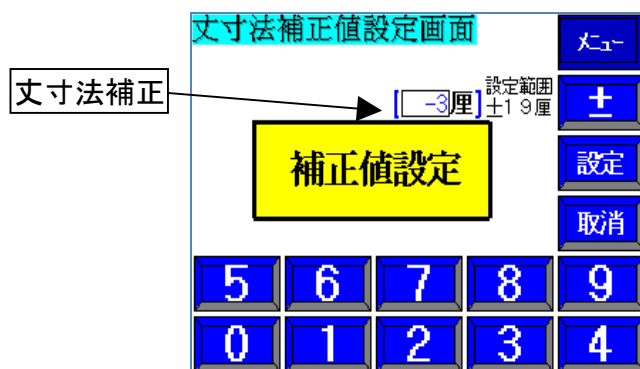
5-10. 寸法法補正值設定

自動運転時の設定値の補正が出来ます。

寸法法の補正值を入力できます。

呼出画面及び運転画面無いに補正が表示されます。

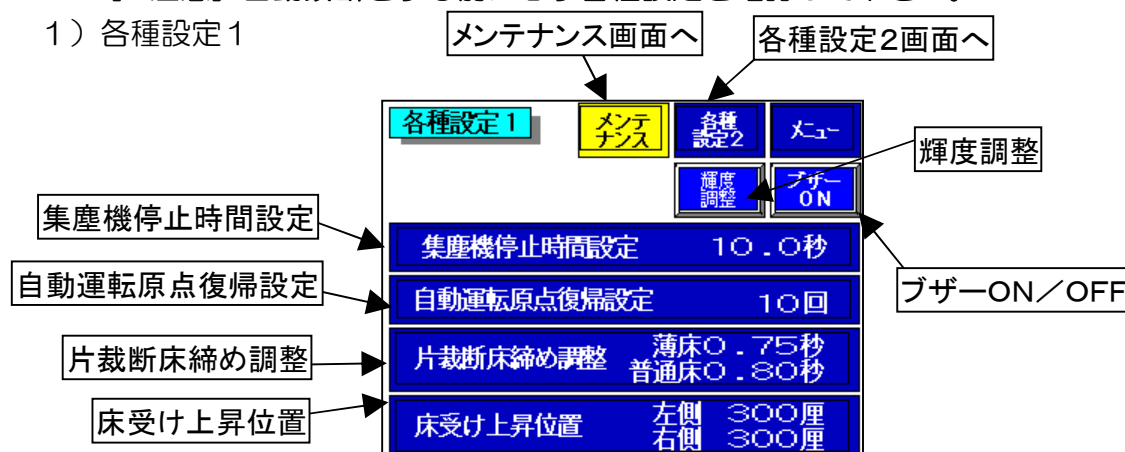
設定範囲： 寸法法・・・+19厘～-19厘



5-11. 各種設定

〔△注意〕 自動裁断をする前に必ず各種設定を確認して下さい。

1) 各種設定1



- 輝度調整・・・タッチパネルの輝度調整画面へ移行
- ブザーON/OFF・・・操作盤のブザーのON/OFFを選択出来ます。
- メンテナンス・・・メーカーによる機械調整値等の設定画面へ移行します。
お客様は変更しないで下さい。変更された場合動作の保証は出来ません。

①集塵機停止時間設定・・・

カッター停止後、集塵機がOFFになる時間を設定することが出来ます。

設定範囲：0.1～30.0秒

※カッター停止から後退完了するまで（約10秒間）集塵機を稼働させて下さい。

テンキーにて入力後必ず【設定】を押して下さい。

②自動運転原点復帰設定・・・

自動運転時位置決め回数をカウントして自動裁断後自動で原点復帰をする回数を設定出来ます。

設定範囲：1～30回（精度を重視する場合は回数を少なくします。）

③片裁断床締め調整・・・

片裁断時の床仮締め上昇量を設定します。

薄床選択時、普通床選択時のそれぞれを設定できます。

※普通床の場合、針が抜ける時間分長く設定する必要があります。

設定範囲：0.01～2.00秒

参考値：薄床選択時0.75秒、普通床0.80秒

片裁断床締め上昇時間設定					戻
片裁断時の仮床締め上昇時間を設定します。					.
薄床選択時 0.75 秒					設定
普通床選択時 0.80 秒					取消
(設定範囲：0.01～2.00秒)					
5	6	7	8	9	
0	1	2	3	4	

④床受け上昇位置設定・・・

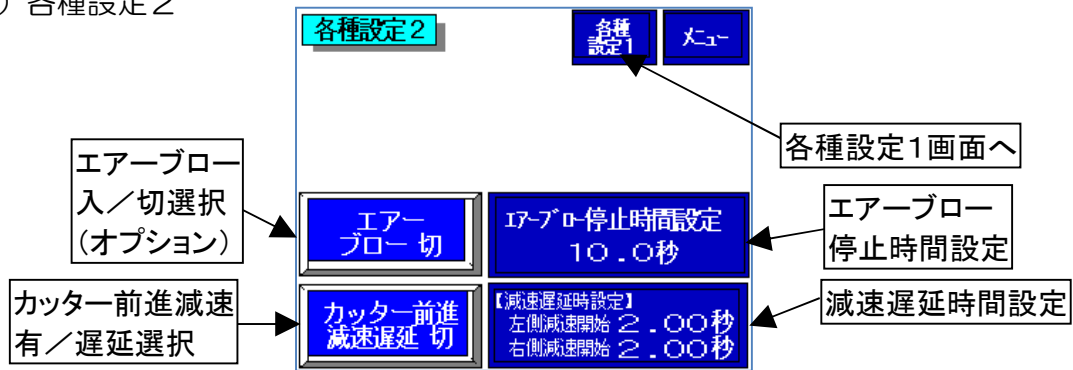
床受け上昇リミットスイッチが働いてから床受けを上昇させるまでの距離を設定できます。

設定範囲：100～1800厘

参考値：左側 300厘、右側 300厘

床受け上昇位置設定					戻
床受け上昇リミットスイッチが働いてから床受けを上昇させる距離を設定します。					
左側 300 厘					設定
右側 300 厘					取消
(設定範囲：100～1800厘)					
5	6	7	8	9	
0	1	2	3	4	

2) 各種設定2



- エアブロー 入/切 … オプションのエアブローの入/切を選択できます。
【エアブロー 入】を選択されていても【エアブロー停止時間】に 0.0秒を設定されているとエアブローは、【切】になります。
- カッター前進減速遅延 入/切 … 入を選択するとカッター前進減速センサーがONした後の減速開始位置を遅らせることができます。
※サイクルを早くしたい場合の時使用します。

①エアブロー停止時間設定（オプション）・・・

カッター前進と同時にエアブローを開始できますが、このエアブローの停止時間を設定できます。

この停止時間は【エアブロー 入/切】を押して【エアブロー 入】を選択した時の停止時間です。

設定範囲：0.0～30.0秒

特記）0.0秒の設定は、エアブローがOFFになります。

エアブロー停止時間設定					戻る
エアブローの停止時間を設定します。					
10.0秒					
(設定範囲：0.0～30.0秒)					
特記) 0.0秒設定は、エアブローOFF					
5	6	7	8	9	設定 取消
0	1	2	3	4	

②遅延減速時間設定・・・

カッター左側と右側それぞれの遅延時間を入力出来ます。

この遅延時間は【カッター前進減速遅延 入／切】を押して【カッター前進遅延 入】を選択した時の遅延時間です。

設定範囲：0.01～3.00秒

カッター前進減速開始設定
減速遅延設定時の前進減速
センサーON後の減速開始
位置を設定します。

カッター左側 2.00 秒
カッター右側 2.00 秒
(設定範囲：0.01～3.00秒)

戻る
.
設定
取消
5 6 7 8 9
0 1 2 3 4

5－1 2. 裁断枚数確認

裁断枚数、総裁断回数を確認出来ます。

運転中 裁断枚数確認 メニュー

総裁断回数 4892 回
* 荒落し回数含む

通常運転の
裁断枚数

通常運転
裁断枚数 1027 畳
リセット

一枚運転の
裁断枚数

一枚運転
裁断枚数 508 畳
リセット

総裁断回数

裁断枚数リセット

* 荒落し回数は含まない

- 総裁断回数・・・荒落としての裁断回数もカウントした総回数を表示します。

* 八角刃、チップソーの交換時期等の目安になります。

- 通常運転の裁断枚数・・・通常運転で裁断した枚数です。

【リセット】を押すと0になります。

- 一枚運転の裁断枚数・・・一枚運転で裁断した枚数です。

【リセット】を押すと0になります。

* 製品枚数の管理に使用できます。

6. 運転方法

6-1. 普通畳の運転方法

1. エアードライヤ・コンプレッサ電源確認（ON）。
【△注意】 エアードライヤの電源を先にONにしてください。
2. 制御盤の主電源のブレーカを入れて下さい。
3. 操作盤の原点復帰スイッチを押して、原点復帰（四尺五寸セット）をして下さい。
【△注意】 電源投入後は必ず原点復帰を行って下さい。原点復帰を行わないと自動運転が出来ません。
4. 操作盤の原点復帰スイッチが点灯しているか確認して下さい。
5. メニュー画面の【各種設定】を押して各種設定を確認して下さい。
6. メニュー画面の【開始番号呼び出し】を押して下さい。
7. 呼出番号設定画面で、作業したい畳番号を呼び出して、位置決め開始スイッチを押して下さい。「ピッ」と音がしたら位置決め完了です。
8. 床を入れて上前ストッパーまでしっかりと押し当てて下さい。レーザーマーカを基準に左右とも均等に切れるようにして置いて下さい。
【△注意】 最大切り落とし量は、片側1寸5分以内にして下さい。
それ以上切り落とす場合は、必ず荒落としを行って下さい。
9. 丈の定規が正しい寸法を示しているか確認した上で、起動スイッチを押して下さい。
（裁断が開始します）
【△注意】 構造上、本機にはクセの定規は存在しません。ご了承下さい。
10. 開始番号呼出画面の【畳番号固定／繰上】を【畳番号繰上】にしておくと、裁断終了後、自動的に次の畳番号に繰り上がり位置決めを行います。
引き続き裁断を行う場合は、7項の操作から繰り返して下さい。

6-2. 薄畳の運転方法

床厚が7～25mmの場合は、下記の操作を行って下さい。

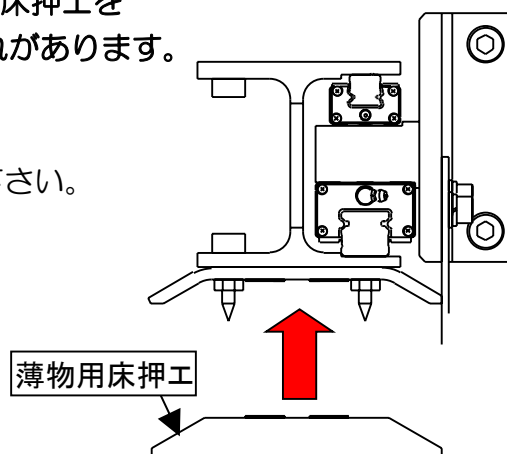
1. 刃物ガイドに 薄物用床押工を取り付けて下さい。

〔△注意〕 床厚が26～55mmの場合は、薄物用床押工を取り外して下さい。機械の破損の恐れがあります。

2. 刃物角度は13°に切り替えて下さい。

以降は、普通畳の運転方法と同様に裁断を行って下さい。

- ・普通畳： チップソー角度 8°
- ・薄畳： チップソー角度 13°
- ・置畳： チップソー角度 0°



6-3. 床材料によるカッター走行速度調整

1. 床材料によって操作盤の側面にあるカッター走行速度ボリュームのつまみを回して調整して下さい。（カッター前進のみ調整）

※ボリュームMAX：60Hz MIN：20Hz

- わら床、オールボードの時目盛り30以下（30Hz以下）にして下さい。
- その他については、その都度調整して下さい。

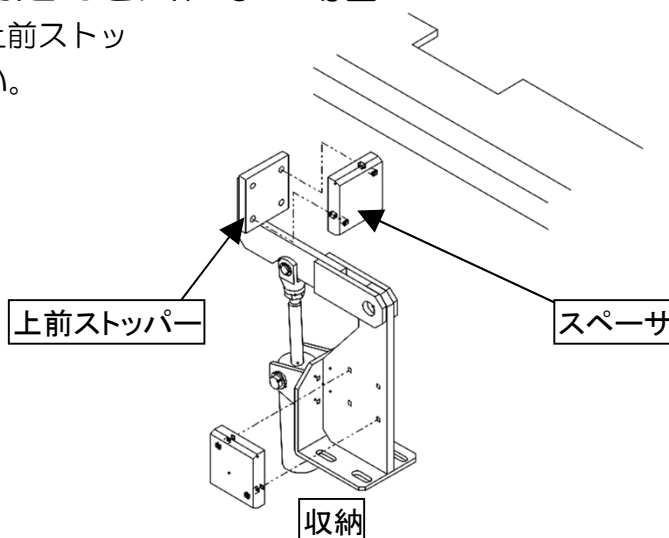
〔△注意〕 速度が速いと過負荷で停止しますが、機械の破損の恐れがあります。また、刃物の寿命にも影響します。

6-4. 縁無し畳あるいは切込刃を入れない場合

1. 切込刃を外さずに下図の様に上前ストッパーにスペーサを取付けて下さい。

2. スペーサを使用しない場合は収納の位置に収納して下さい。

※スペーサには位置決めのピンとマグネットが付いています。



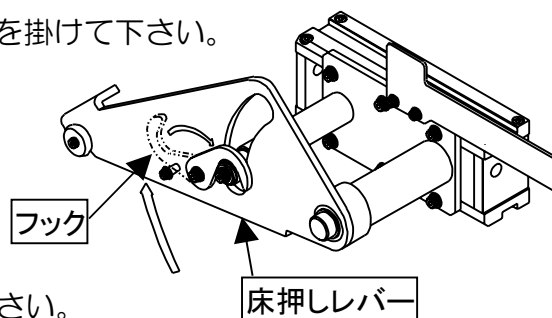
6-5. 片裁断あるいは半畳落としの運転方法

〔△警告〕 必ず右側のカッターを使用して下さい。

〔△警告〕 半畳落としの場合は刃物角度は必ず8° にして下さい。

1. 左右の床送り出しバーを持ち上げにフックを掛けて下さい。
(右図参照)

〔△警告〕 フックを掛けずに運転すると
機械が破損します。



2. メニュー画面の【片裁断運転】を押して下さい。
3. 片裁断運転画面の【床厚薄床】か【床厚普通床】を選択して下さい。
4. 片裁断運転画面の【床受け有効】か【床受け無効】を選択して下さい。
切り落とし量が1寸5分以内で床が垂れる場合のみ【有効】にして下さい。
5. 片裁断運転画面の【半畳斜裁断入】か【半畳斜裁断切】を選択して下さい。
切り落とし量が1寸5分以上の場合は【入】にして下さい。
【入】にすると約8分のクセを取りながら裁断します。
6. 操作盤の丈移動スイッチで任意の位置にして下さい。
7. 床を入れて上前ストッパーまでしっかりと押し当てて下さい。
8. 仮締フットスイッチを踏んで仮締めを行って下さい。
裁断したい位置を刃物ガイドに合わして下さい。
9. 本締フットスイッチを踏んで本締めを行って下さい。
位置決めをやり直す場合は再度踏んで床締めを上昇させやり直して下さい。
10. 起動スイッチを押して下さい。(裁断が開始します)
〔△注意〕 半畳落としの場合は、裁断外側の床を手で持って下さい。
11. 裁断が終了すると床押えが上昇しますので、床を取り出して下さい。
12. 起動スイッチを押して下さい。(カッターが後退限に戻ります)
引き続き片裁断あるいは半畳落としを行う場合は、7項からの操作を繰り返して下さい。

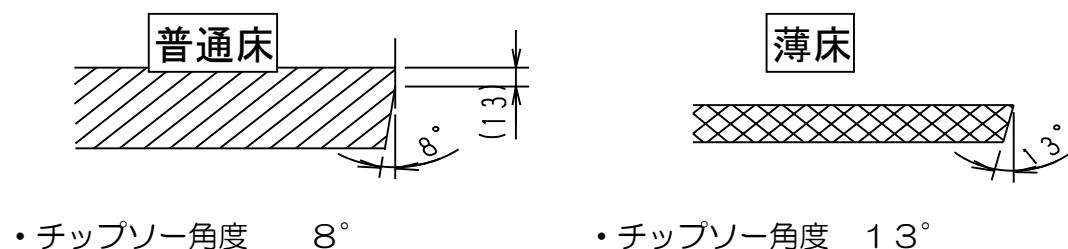
6－6．荒落としの運転方法

- 1．左右の床送り出しバーを持ち上げにフックを掛けて下さい。（前ページ参照）
 - 2．呼出画面の【荒落とし有り】を選択して下さい。
 - 3．位置決めスイッチを押して下さい。荒落とし位置（設定値＋2寸）に移動します。
 - 4．床を入れて上前ストッパーまでしっかりと押し当てて下さい。
【△注意】左側の切代は1寸5分以内を必ず守って下さい。
 - 5．起動スイッチを押して下さい。（裁断が開始します）
裁断が終了すると床押えが上昇して停止します。
 - 6．床押しレバーが持ち上がっているか確認して下さい。
床押しレバーが下がっている場合、1項と同様に持ち上げて下さい。
【△注意】床押しレバーが下がっていると畳を送り出します。
 - 7．起動スイッチを押して下さい。（カッターが後退限に戻ります）
カッター後退完了後、設定位置に移動します。
 - 8．床を上前ストッパーまでしっかりと押し当てて左右バランスをとりセットして下さい。
 - 9．起動スイッチを押して下さい。（裁断が開始します）
 - 10．床を送り出す場合は、呼出画面の時に【裁断後一時停止】を選択しておきます。
手前に戻す場合は、【裁断後自動後退】を選択しておきます。
 - 11．床を送り出す場合、裁断後床押さえが上昇して停止します。
床押しレバーをフックを外し下げて起動スイッチを押して下さい。
（カッターが後退限に戻ります）
手前に戻す場合は、床押しレバーが持ち上がった状態で自動でカッターが後退限に戻ります。
【△注意】床押しレバーの状態をよく確認して操作して下さい。
- 引き続き荒落としを行う場合は、4項からの操作を繰り返して下さい。

6－7．機械原点について

- 1．床締めシリンダー・・・・・・上昇位置
- 2．上前ストッパーシリンダー・・・・・・上昇位置
- 3．カッター走行・・・・・・後退限

6－8．畳裁断断面形状について



6－9. 作業終了方法

1) 作業終了後の動作方法

1. 作業が終了したら、呼出番号画面を表示させて下さい。
2. 番号『0』を入力し【設定】を押して下さい。
※番号『0』は固定で、作業終了時の番号です。
3. 位置決め開始スイッチを押して下さい。
4. 位置決めが完了したら、電源スイッチをOFFにして下さい。

※上記の作業を行う事により、次の作業開始の時に原点復帰させる時間が最短になります。

または、上記の1～3項は原点復帰スイッチを押しても同じ事なので、次の方法でも構いません。

1. 作業が終了したら、原点復帰スイッチを押して下さい。
2. 原点復帰が完了したら、電源スイッチをOFFにして下さい。

2) 清掃及び日常点検

1. 清掃を行って下さい。（特にカッター溝及びレール部やチェーン部）
2. エアーフィルターの洗浄及び注油、給脂を必要に応じて行って下さい。

7. こんなときは・・・

「動かない」、「異常が発生した」、「操作が分からなくなった」、こんなときは以下の操作にしたがって問題を解決して下さい。

1) 制御盤の主電源ブレーカをONにしても電源ランプが点灯しない。

原因： 次の3つが原因として考えられます。

- ・ 200V電源が入力されていない。
- ・ 制御盤のヒューズが切れている。
- ・ 電源ランプの電球が切れている。

処置： 200V電源が入力されているか、テスターなどで確認して下さい。

制御盤のヒューズホルダーからヒューズを取り出し、切れていないか確認して下さい。

【△警告】 感電の恐れがありますので、ヒューズを取り出す場合は必ず制御盤の主電源ブレーカをOFFにして下さい。

電源ランプの電球が切れている場合は、電源ランプが点灯しないほかは正常に動作します。

2) 寸法データを読み出そうとすると、各エラーコメントが表示される。

原因： 中央マイコンとのオンラインが出来ていません。

処置： 表示された各エラーコメントを参照して、次の項目を確認して下さい。

- ・ 中央マイコン側の電源は入っていますか？
- ・ 中央マイコン側に寸法データは入っていますか？
- ・ 読み出す番番に間違いありませんか？
- ・ オンライン光ケーブルに断線している箇所がありませんか？
- ・ オンライン用光モデム装置が、赤い点滅を示していますか？

これらの事項に問題がない場合は、両方切断機と中央マイコンの電源を入れ直してから、もう一度試して下さい。

**【△注意】 本機は中央マイコンからデータ送信をする場合、
両方向の両側中クセ寸法は入力できません。**

3) 原点復帰スイッチを押しても、原点復帰動作を行わない。

原因： 何らかの異常が発生している。

処置： 次の項目を確認して下さい。

- ・ 制御盤の主電源ブレーカはONになっていますか？
- ・ 操作盤の電源ランプは点灯していますか？
- ・ 200Vコンセントは確実に差し込まれていますか？
- ・ エラー表示がされていませんか？

エラー表示がある場合は、エラーを解除して下さい。

- ・ 一時停止あるいは非常停止スイッチを押してロックされた状態になっていませんか？

ロックされている場合は、時計回りに回してロックを解除して下さい。

4) 位置決め開始スイッチを押したときに、「原点復帰して下さい」と表示される。

原因： 電源投入後、一度も原点復帰されていません。また、片裁断運転終了後は、再度原点復帰を行う必要があります。

処置： 原点復帰を再度行って下さい。

原点復帰動作が完了すれば、通常運転が可能になります。

5) 位置決め開始スイッチを押しても、裁断寸法へ位置決め動作しない。

原因： 機械が原点状態に戻っていないか、異常が発生している。

処置： 次の項目を確認して下さい。

- ・制御盤の主電源ブレーカはONになっていますか？
- ・制御盤の電源ランプは点灯していますか？
- ・200Vコンセントは確実に差し込まれていますか？
- ・エラー表示がされていませんか？
エラー表示がある場合は、エラーを解除して下さい。
- ・操作盤の原点ランプは点灯していますか？
点灯していない場合は、原点状態に戻して下さい。

6) 起動スイッチを押しても裁断を開始しない。

原因： ・機械が原点状態でないか、裁断寸法へ移動するための位置決め開始スイッチを押していない。

・カッター左右切換スイッチが中央位置にない。

処置： 次の項目を確認して下さい。

- ・操作盤の原点ランプは点灯していますか？
点灯していない場合は、原点状態（カッターを原点位置にする）に戻して下さい。
- ・タッチパネル画面が運転画面になっていますか？
表示されていない場合は、裁断したい番号の寸法データを呼び出し、位置決め開始スイッチを押して下さい。
- ・カッター左右切換スイッチを中央位置にして下さい。

7) 異常画面が表示されている。

原因： 何か異常が発生している。

処置： 異常画面をよく確認して、手動操作等で異常を解除して下さい。

8) 裁断途中で停止し、モーター過負荷の画面表示がされている。

原因： カッター回転用のモーターが過負荷となっている。

処置： この状態は主に裁断中に発生します。モーターが過負荷となった原因を取り除き、制御盤内のサーマルのリセットスイッチを押して下さい。

走行ボリュームで走行速度を落として再起動して下さい。

しかし、カッターを手動で後退させてから再起動させた方が機械的に良い。

異常画面のコメントをよく読んで対処して下さい。

8. 消耗品

切込刃（わら床用）	LI4-4330 #1 、 LI4-4330 #2	
切込刃（化学床用）	LI4-4331 #1 、 LI4-4331 #2	
八角刃	LI4-5743# 1	
チップソー	00DD10198	AN-15、φ255
タイミングベルト（チップソー回転用）	00HA40918	250S5M950GB
タイミングベルト（クセ取り用）	00HA40920	150S5M295GB
シーケンサーバッテリー	00EE10551	FX3U-32BL
タッチパネル用保護シート	00EC70257	GT21-50PSCC
スポットライト用電球	00EG10154	LR110V 40W・S

9. 主な仕様

裁断可能な床寸法	丈 ：2尺2寸～6尺6寸 巾 ：2尺2寸～3尺3寸 （2尺3寸巾以下はクセ取り不可） 床厚：7～65mm
クセの範囲	3尺3寸単位で±5分
最大切り落とし量	片側1寸5分（寸法精度の保証範囲）
裁断角度	先裁ち刃は直角に裁断の2段階裁断 回転刃角度：0～13°（無段階手動調整）
裁断速度	ボリュームにて可変
分割裁断（半畳切断）	回転刃8度に設定時、裁断可能
片裁断機能	右側カッター部で斜行切断方式 （1m幅単位で約18mm斜行）
荒落とし機能	全長で2寸大による荒落とし （切り落とし量は1寸5分未満）
寸法補正	丈寸法の補正：±19厘
記憶枚数	500枚（0番固定、1～499）
電気容量	チップソー回転：1.5kw×2ヶ 八角刃回転 ：0.09kw×2ヶ カッター走行 ：0.2kw×2ヶ 丈移動 ：0.09kw クセ取り ：0.1kw×2ヶ 集塵機 ：2.2kw 総電力 ：6.07kW 運転中最大電力：5.98kw
電源	3相AC200V、単相AC100V（ライト用）

※仕様は改良等の為、予告なく変更する場合があります。

製品に関するお問い合わせ

KLASS 株式会社 畳事業部

0791-62-1772

土日祝日を除く 10:00～17:00

メンテナンスに関するお問い合わせ

KLASS 株式会社 サービス部

0791-65-2336

右の二次元コードからも連絡いただけます。



KLASS株式会社

〒679-4195 兵庫県たつの市龍野町日飼 190